

竹酢液 原液

ニンニク 唐辛子入り

土壤改良に
—有機酸効果—

減農薬に
—吸収促進—

有機栽培に
—糖度向上—

国産

20ℓ

竹酢液

炭焼窯の煙を集めて冷却、液化したものが粗竹酢液で、これを静置法（6ヶ月以上静置）、ろ過法などでタール分を最小限にした茶褐色が竹酢液です。竹酢液は独特の燻製臭のする浸透性がある液体で、液性はpH3の酸性です。タール分が害虫忌避効果を、酢酸成分が生長促進効果を、約500種類の微量成分がビタミンの役割をしています。

竹酢液の成分は、酢酸などの有機酸類、グアヤコールなどのフェノール類、カルボニル化合物、アルコール類、中性成分、塩基性成分など500種類以上の天然有機成分を含み、それらが相互に有効に働くことによって植物の生長促進や防虫効果など様々な効果が得られます。

有機酸効果

竹酢液は有機酸類が含まれ、アルカリ類と反応すると酸性土壌がアルカリ化し、これが有機酸効果です。

炭焼十字軍

山が、川が、岩魚の声が…
「環境・リサイクル・雇用機会」を合言葉に「炭焼十字軍」が誕生しました。

LPガス燃料を使用して1日で製造します。炭焼に紙や雑木を使わないため純粋な竹酢液となります。

原材料を燃やさないので発ガン物質ベンツピレンを含みません。

（証明書はホームページに掲載）

土壤改良～灌水へ

JAS法「有機栽培基準」で土壤改良資材認定を受け利用が増えています。

農業分野では、古くから、「人間に良いものは植物にも良い」との考えから愛用されている。

予防農法では灌水を主体とし、根から吸収させて体臭化します。

<根張りの増進>30～50倍

竹酢液は植物の毛細根の増進効果で根張りが良くなります。栄養分の吸収やミネラル分の吸収で丈夫になる。

<連作障害>10倍

植物の排泄物が土壌に溜まり酸性化します。これが原因とされています。中和作用により防ぎます。連作障害は10倍で土壌灌注する。

<堆肥作り>10～300倍

稲刈り後の荒耕時に10倍を散布すると春までに有機土壌となり、田植えの際に稲わらが浮かびません。堆肥作りの発酵促進は300倍で、粉炭を使用するとより効果がある。

<生長促進・糖度向上>100～500倍

生長促進効果は植物を守る有用微生物（乳酸菌・納豆菌・枯草菌）を増殖して効果がある。

<減農薬>300～500倍

アルカリ性農薬以外は竹酢液300～500倍にて混用してください。農薬を規定量より30%～50%減らせる。

<ニンニク>

ビタミンB6の含有量が多くビタミンB1の効果を高める硫化アリルが含まれ生長促進効果がある。

<唐辛子>

ビタミンAとビタミンCが豊富で生長促進効果が、カプサイシンの殺菌作用や除虫効果がある。

<激辛唐辛子>

「天鷹」の粉末を使用。

<ニーム>（別名インドセンダン）

ニームに含まれるアザディラクティンに害虫忌避効果がある。

<カルシウム>

実を宿すとカルシウムが必要となり、植物の倒伏を防ぐ。

<キトサン>

虫の羽に含まれている動物性繊維で、カニ殻などから生産します。微量成分として期待されています。

<ドクダミ>

抗菌作用（ラウリルアルデヒド）や病気予防作用（クエルシトリン）がある。

<クスノキ>

樟脳の原料で防虫作用がある。

【使用上の注意】

- ・冷暗所に保管してください。
- ・アルカリ性製品とは混合しないで下さい。
- ・目や皮膚についたときは水洗してください。

製造：株式会社昭和企画
〒492-8439 愛知県稲沢市七ツ寺町70-4
電話 0587 - 36 - 3271
URL <http://www.showakikaku.co.jp/>
Mail info@showakikaku.co.jp